

●この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

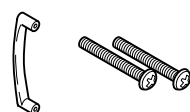
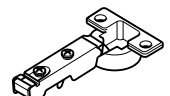

- キャビネットが転倒してケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の栈木を設置してください。
  - ・栈木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
  - ・栈木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度がたりません。)
  - ・栈木は石こうボードの表側には取付けないでください。
  - ・必ず栈木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。
  - ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×60を指定の本数使用してください。
- 扉の吊込みの際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番ベースプレートに「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因になります。

■取付け上のおお願い

- 壁面(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、本体の開閉に支障が出るおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが傷損するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付ドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱燈付近には取付けないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。
- 接着剤は、同梱のものをお使いください。

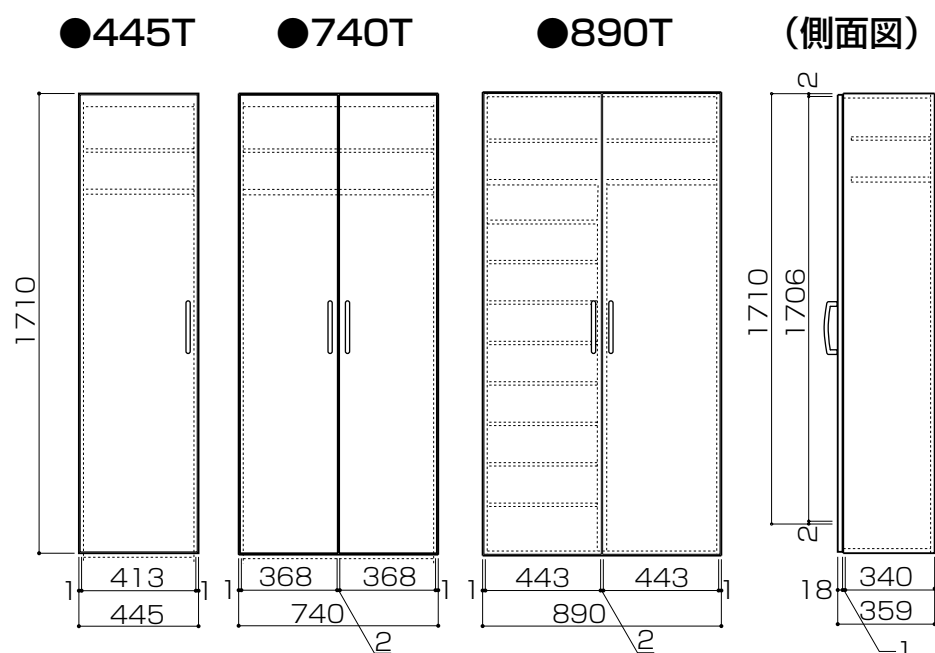
■部材一覧表

	部材名	数量		
		445T	740T	890T
キャビネット 部材	①側板	2	2	2
	②天板・地板	2	2	2
	③背板	1	1	1
	④固定棚	1	1	1
	⑤中仕切	-	-	1
	⑥棚板/W413	1	-	-
	棚板/W419	-	-	8
	棚板/W708	-	1	-
	棚板/W858	-	-	1
	部品	棚ダボ 	4	4
キャビネット連結 中仕切固定ねじ φ3.5×27 (黒) 		3	10	13
躯体取付けねじ φ3.8×60 		1	3	5
接着剤 		1	1	1

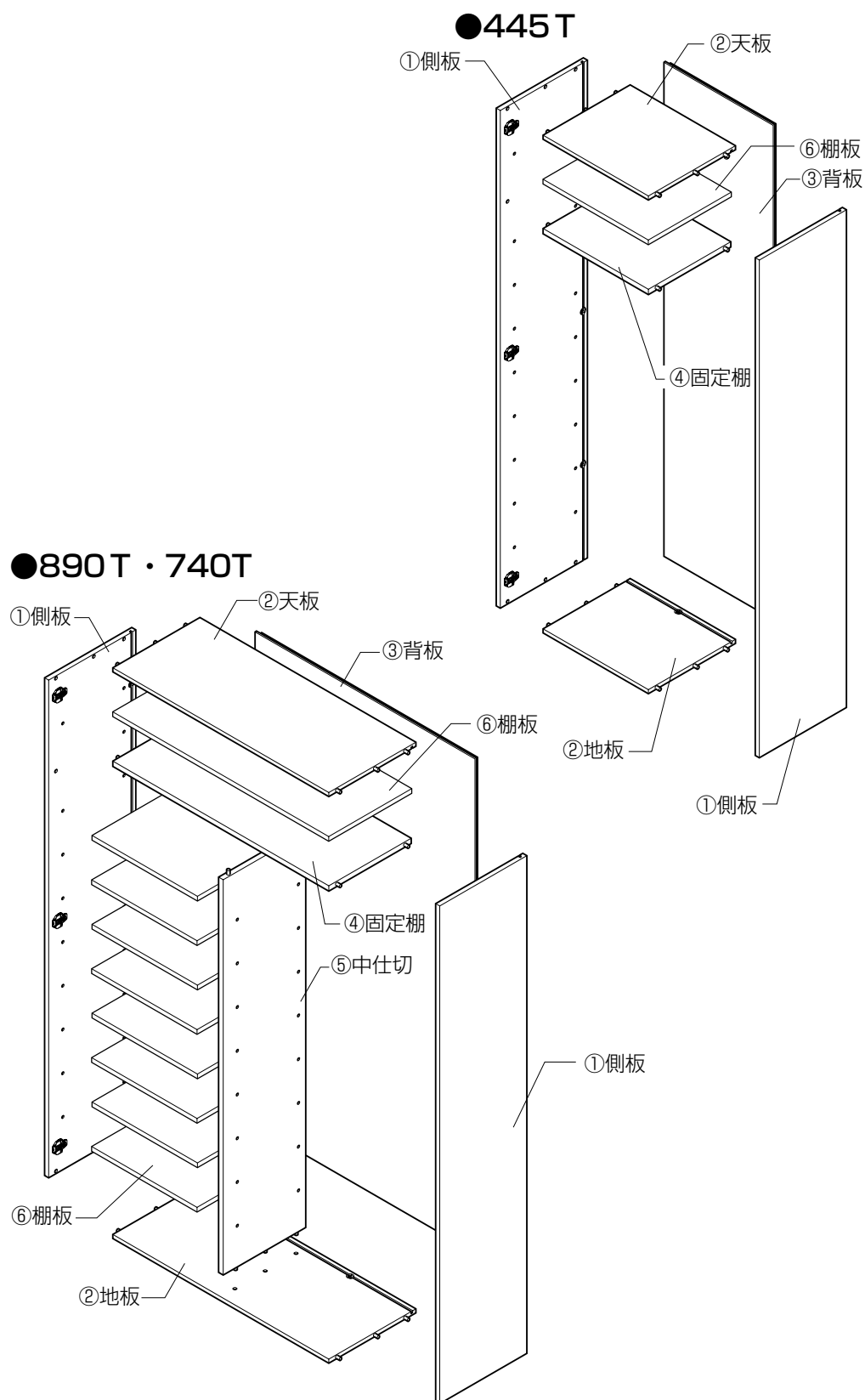
	部材名	数量		
		445T	740T	890T
キャビネット 部品	アーチ型把手セット (把手/トラス小ねじ M4×25) 	3	2	2
	丁番座 	3	6	6
	丁番カップ 	3	6	6
	丁番カップ固定ねじ φ4×16 	6	12	12
扉 部材	ショックアブソーバーセット (アダプター取付けねじ) 	1	2	2
	扉/左右兼用(1枚入り1梱包)	1 (1枚入り 梱包)	2 (1枚入り 梱包)	2 (1枚入り 梱包)

## ■寸法図

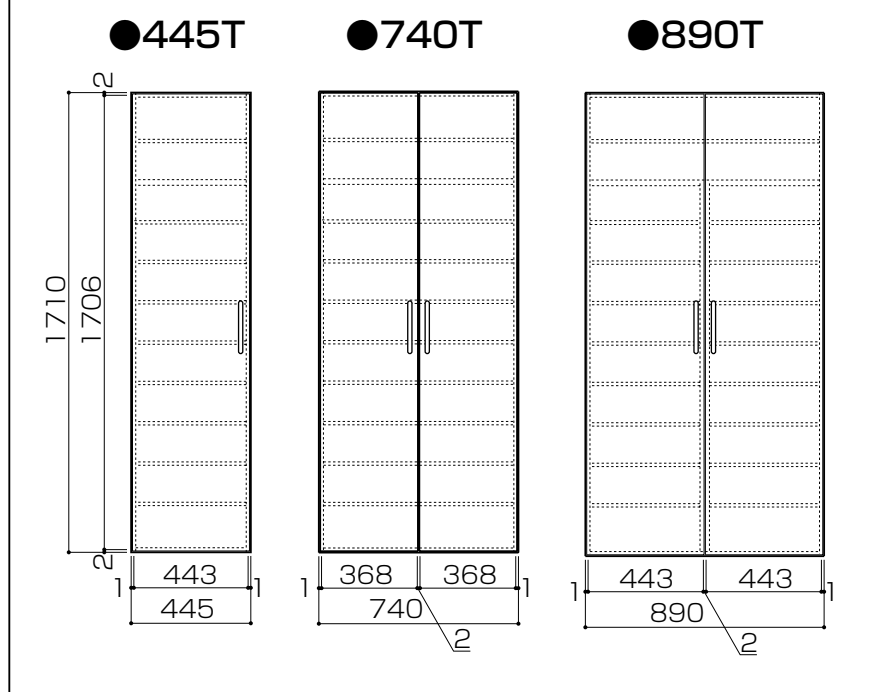
※左右勝手は、丁番の取付け位置により選択できます。  
 ※扉は左右兼用です。



## ■各部名称



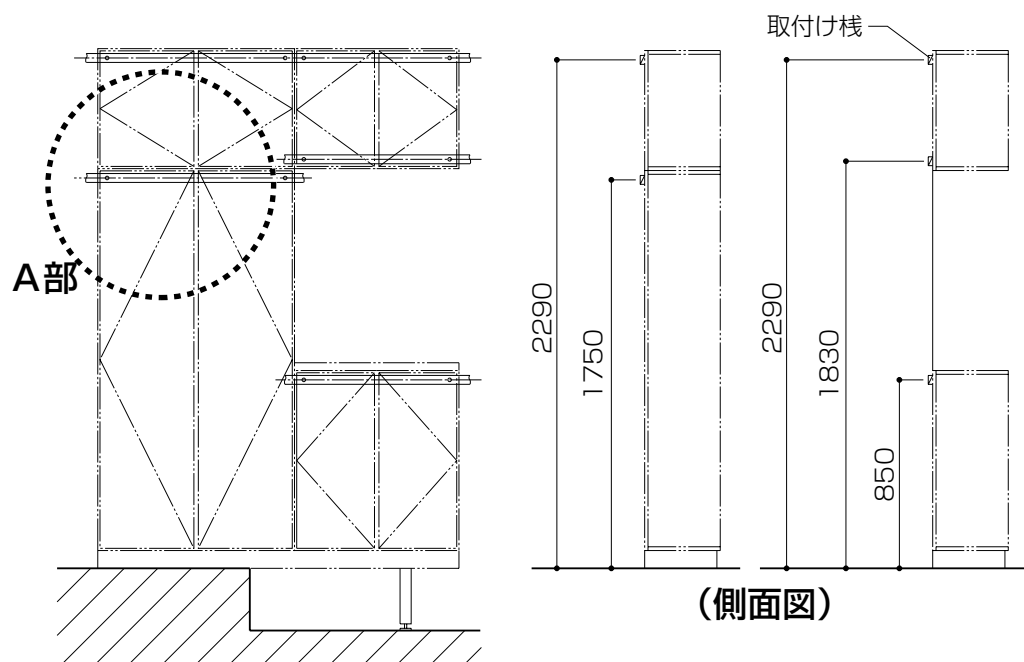
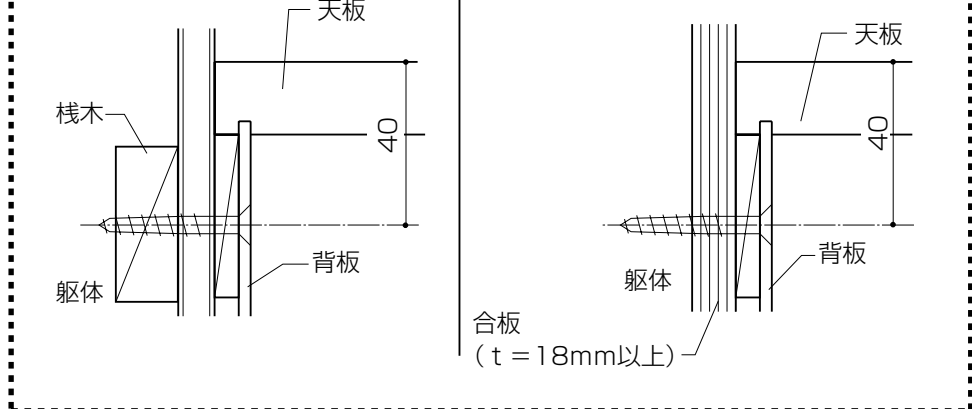
## ■オプション仕様 (追加棚板セット取付け時)



## ■据付け前の準備

●据付け場所と上がり框の位置および、収納セットの左右勝手を確認し、所定の壁面 (躯体) に栈木を設置します。(A部詳細図参照)

## ■A部詳細図



## ▲注意

- 必ず栈木を設置してください。転倒のおそれがあります。
- 栈木は厚さ24mm×60mm以上の硬木を使用してください。
- 合板 (t=12mm) のベタ張りでは、吊下げ強度がたりません。必ず、(t=18mm) を使用してください。

## ■組立て順序

※左右勝手は、丁番座の取付け位置により選択できます。(445T)

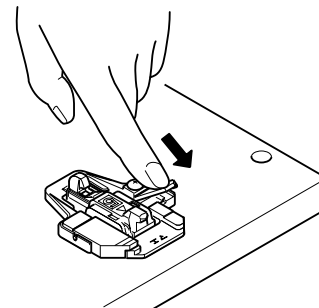
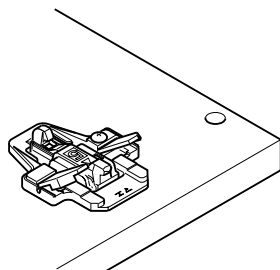
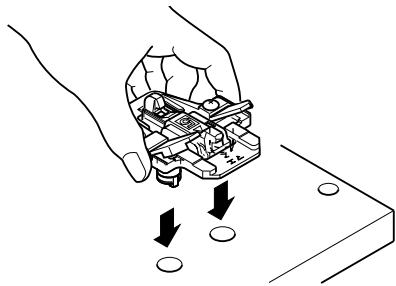
※部材はキャビネット内側がグレー、外側が木目です。

※本組立てでは890Tを示し、445T・740Tには中仕切は付きません。

①側板・中仕切に丁番座を取付けます。

●丁番座を側板(中仕切)の加工穴に差込みます。

●黒レバーをおろして丁番座を固定します。



※445Tの側板には片側しか、丁番座取付け用の下穴はあいていません。キャビネットの天地を逆にして左右の吊元を決定してください。

②固定棚および天板・地板を片側の側板にはめ込みます。

※890Tは中仕切も組込んでください。

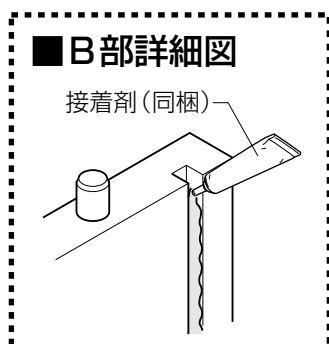
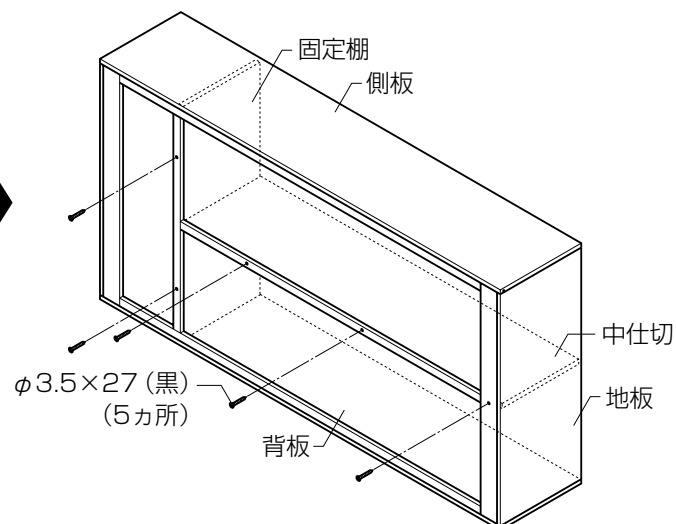
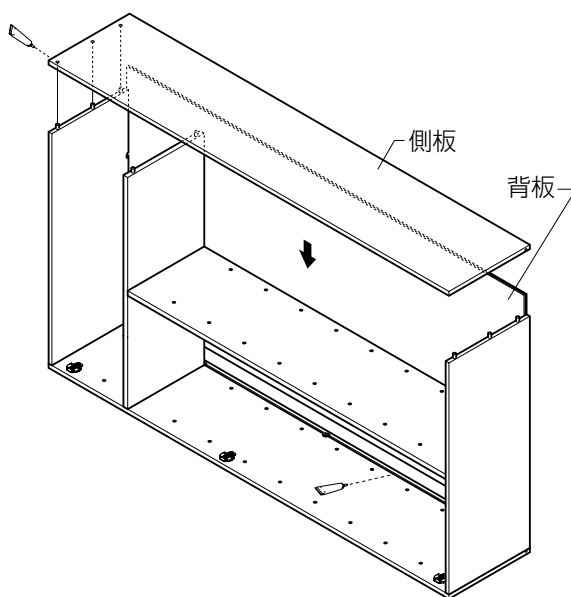
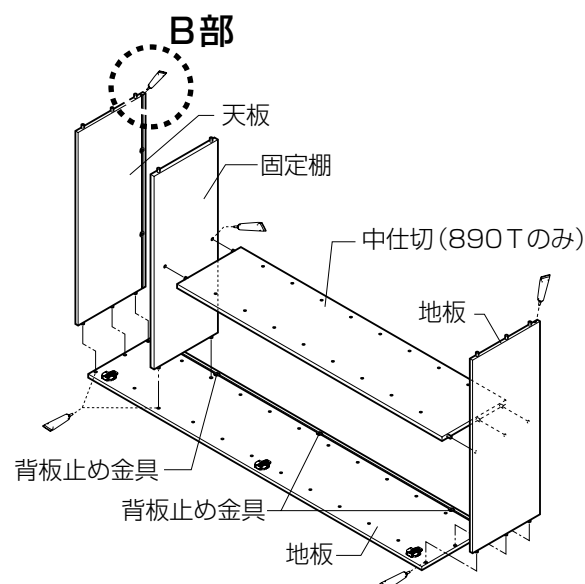
③背板を差込み、背板止め金具を締めます。

④もう一方の側板を差込みます。

⑤キャビネットの垂直を確認した後、残りの背板止め金具を締めます。

⑥背板側から固定棚をねじ止めします。

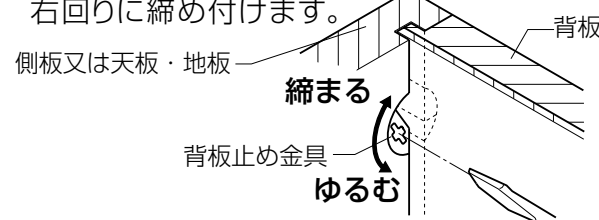
※890Tは中仕切もねじ止めします。



●お願い  
●接合部には必ず接着剤を充てんしてください。

### ■背板止め金具の締め方

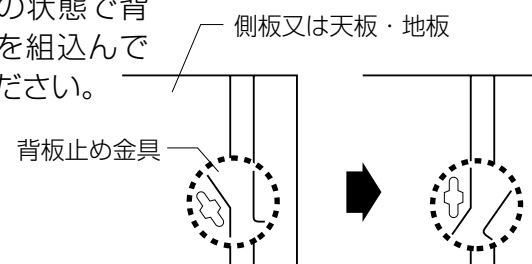
※マイナスドライバーで、右回りに締め付けます。



### 【組立て前】

### 【組立て時】

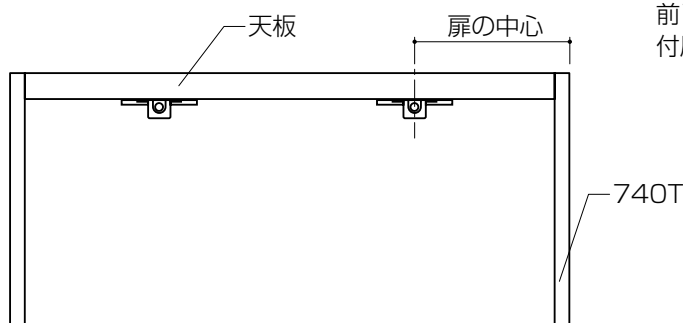
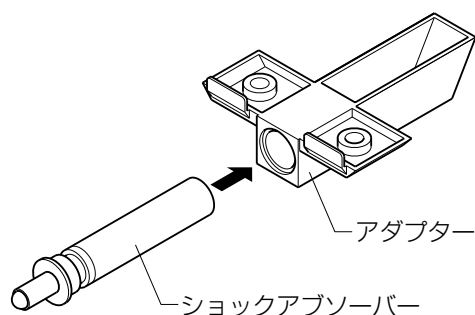
※この状態で背板を組込んでください。



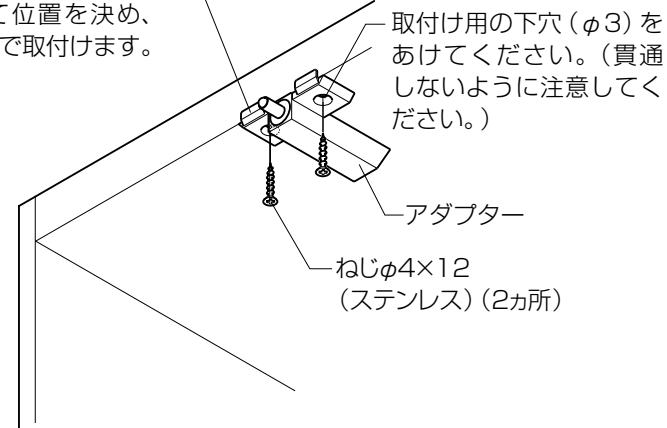
⑦ショックアブソーバーを取付けます。

●アダプターにショックアブソーバーを差込みます。

●ショックアブソーバーが扉の中心になるようにします。

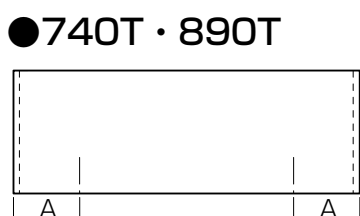


アブソーバーのツメをキャビネットの天板の前面に当て位置を決め、付属のねじで取付けます。



### ■ショックアブソーバー取付け用下穴位置

サイズ	A
445T	222.5
740T	185
890T	222.5

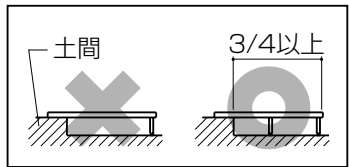


## ■取付け順序

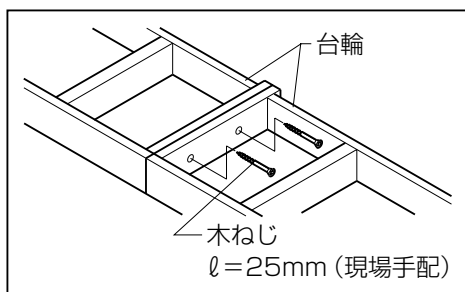
### 1 台輪の設置

●据付け場所に台輪を置きます。  
※台輪を土間に直置きする場合は、水切りのため、アジャスターで10mm以上浮かせてください。

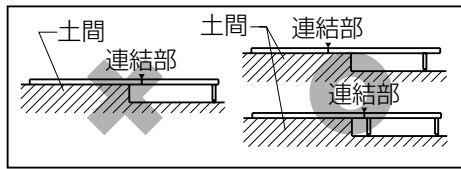
※1335以上の台輪を使用し、土間に2/3以上かかる場合は、追加脚セット(2本入り)(別売品)を使用し、足を4本設置してください。



※台輪を2台以上並べる場合は、木ねじ(ℓ=25mm)で連結してください。

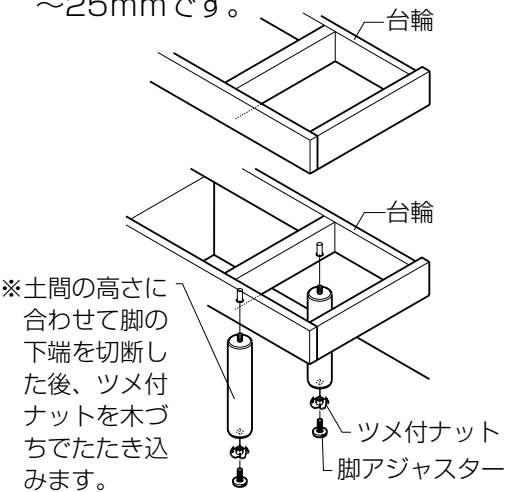


※連結部は、土間にかからないようにしてください。やむを得ない場合は、脚を4本使用し、市販のボルト・ナットでガタツキがないよう、台輪を連結してください。



※台輪の脚の切断可能範囲は、最大100mmです。

※アジャスターの調整範囲は10mm～25mmです。

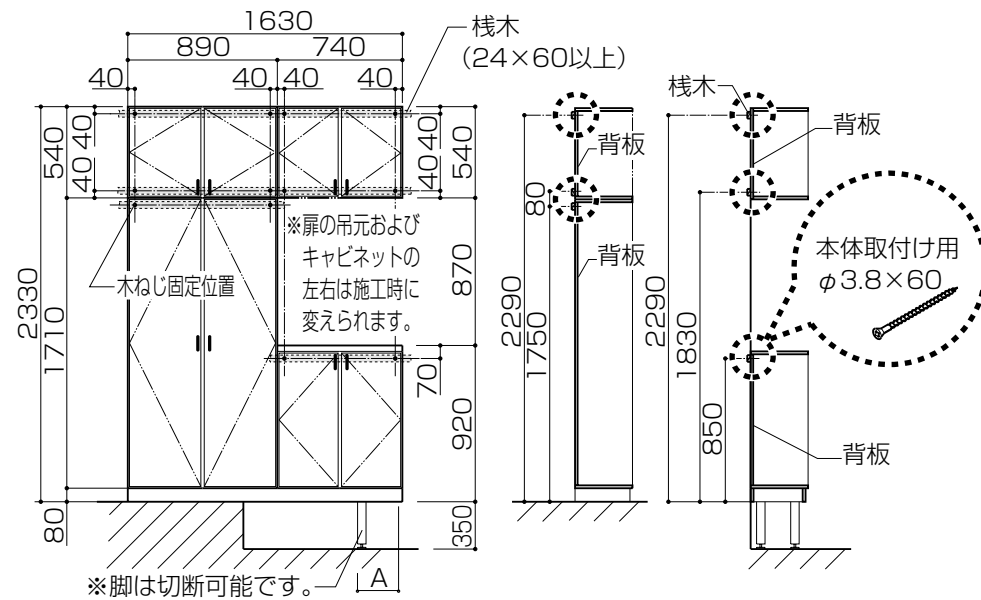


### 2 壁面への固定

※水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら本体取り付け用ねじφ3.8×60で壁面(桧木)に固定してください。

#### ▲注意

●取り付けねじは、必ず桧木の中央又は18mmの合板に固定してください。転倒のおそれがあります。



#### ●脚の取付け位置一覧

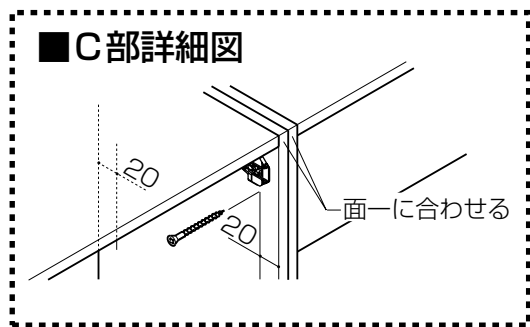
	445	740	890	1185	1335	1480	1630	1780
A	45	45	45	240	45	45	45	240

※A寸法は脚の取付け位置を示します。

### 3 台輪への固定

#### 【キャビネット+キャビネット左右連結】

●キャビネットの側板全面を面一に合わせ、付属の木ねじφ3.5×27(黒)で連結します。



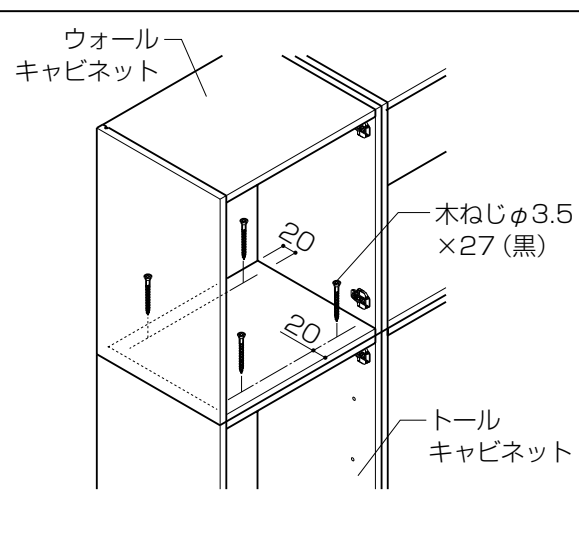
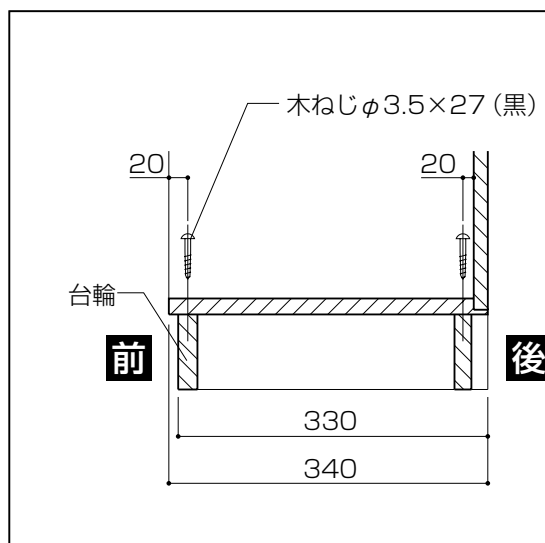
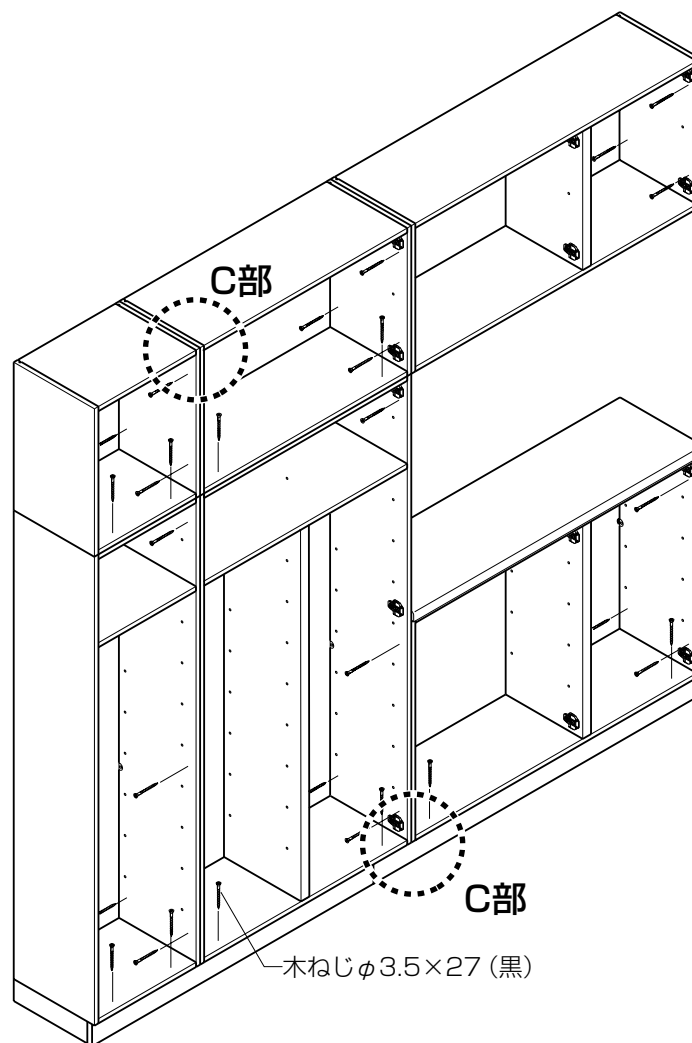
#### 【台輪+各キャビネット連結】

●キャビネットの内側から台輪に木ねじφ3.5×27(黒)で連結します。

※この場合、背面を合わせ、左右のチリを均等にしてください。

#### 【ウォールキャビネット+トールキャビネット連結】

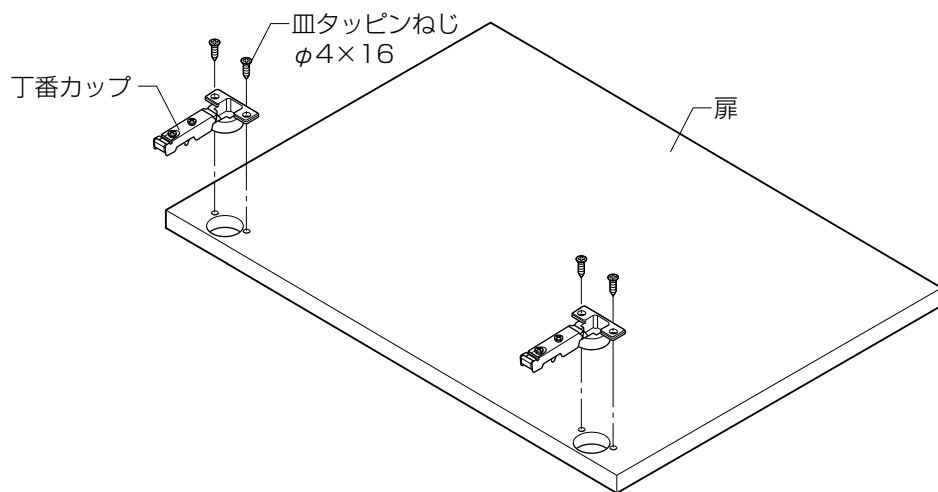
●ウォールキャビネットの地板からトールキャビネットの天板へ(上から下へ)木ねじφ3.5×27(黒)で連結します。



## 4 扉の取付け

### ① 丁番カップの取付け

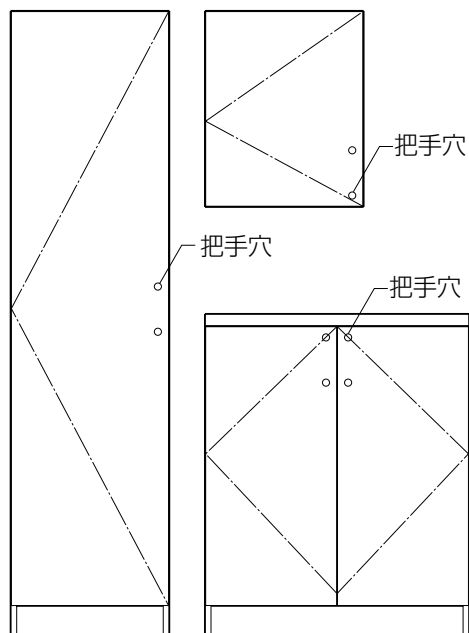
- 扉に丁番カップを同梱のねじで取付けます。



**お願い**  
 ※ 丁番カップを取付ける際は、ねじを空転させないようにクラッチ付ドライバーの弱で締めてください。

### ② 扉の左右勝手の確認

- ウォールキャビネットは把手穴が下、ベースキャビネットは把手が上になります。
- トールキャビネットは扉のセンターに把手穴があります。



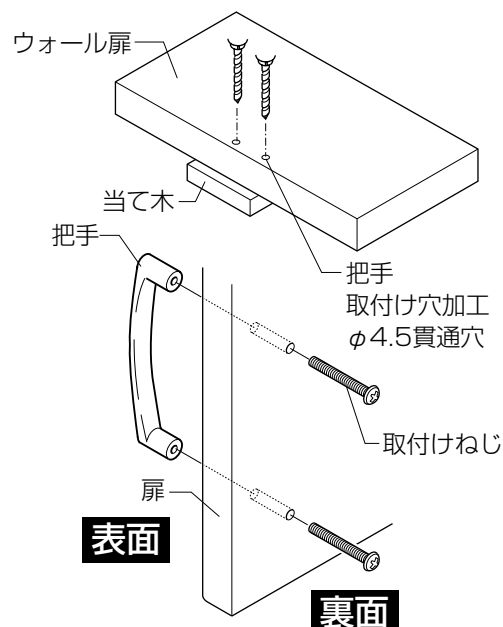
### ③ 把手取付け穴加工

- ※ 445ウォール扉は現場での把手取付け穴加工が必要です。
- ※ 把手取付け穴加工を開ける時は、必ず当て木を使用してください。

**お願い**  
 ※ 当て木をしなくて穴を開けると、フィルムがめくれる原因となります。

### ④ 把手の取付け

- ※ 把手セットはキャビネットに同梱されています。

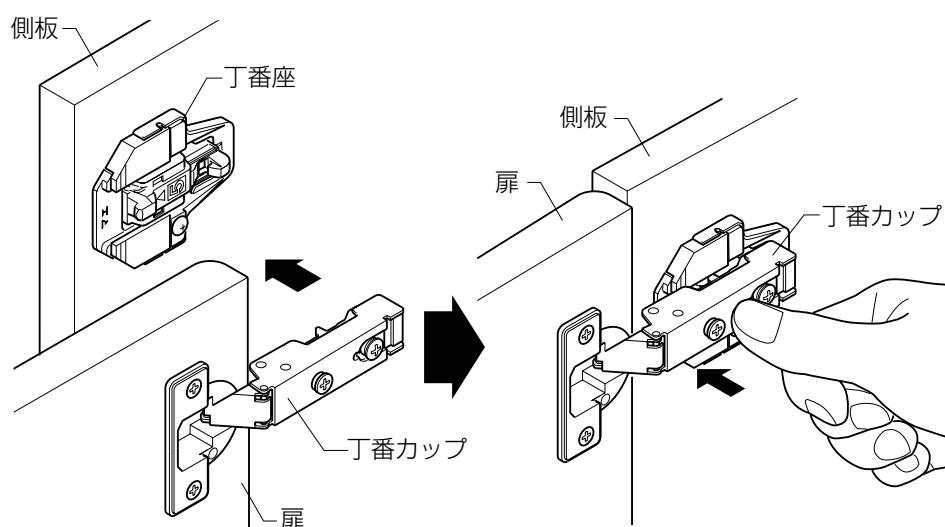


### ⑤-1. 扉の取付け方

#### ▲ 注意

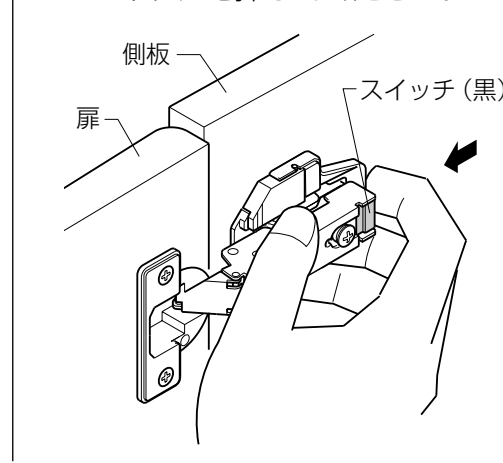
- 扉を本体に取付ける際は、丁番本体が「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

- ※ 扉の吊込み後、3回程開閉を行い、丁番がきちっと取付けられているか必ず確認してください。



### ⑤-2. 扉の外し方

- 扉を外す際は、丁番本体の黒いスイッチを押してください。



## ■ 扉の調整

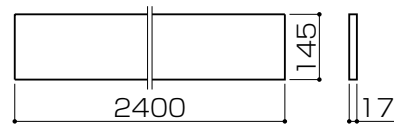
前後調整	左右調整	上下調整
調整範囲 (3mm: 前方2mm・後方1mm)	調整範囲 (±2mm)	調整範囲 (±1.5mm)

## ■オプション部品の取付け

### 【天井幕板・開口調整材】

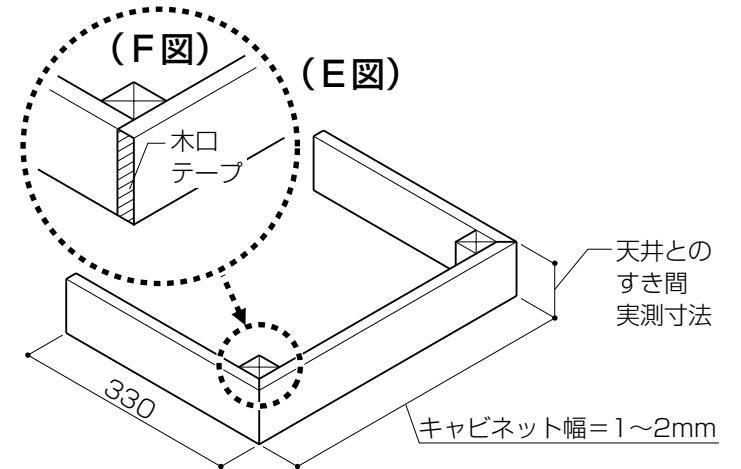
- ※扉より先に取付けてください。
- ※どちらも、現場加工用化粧板を使用します。
- ※天井幕板と開口調整材を併用する場合は、両者を面一に合わせてください。

### ●現場加工用化粧板

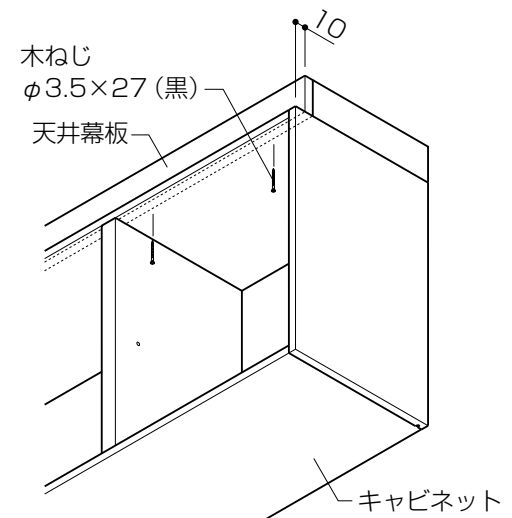


### ■天井幕板

- ①実測寸法に基づいて化粧板を加工し、組立てます。(E図又はF図)
- ②台輪と面一に合わせて取付けます。



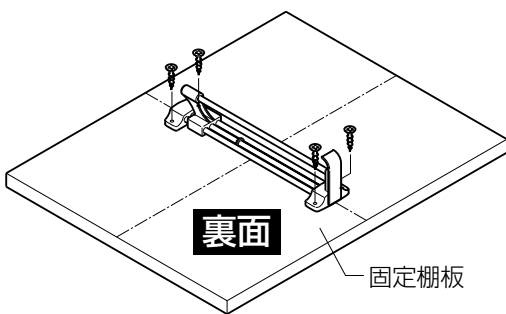
- ③キャビネットの内側からねじ止めします。



### ■ハンガー

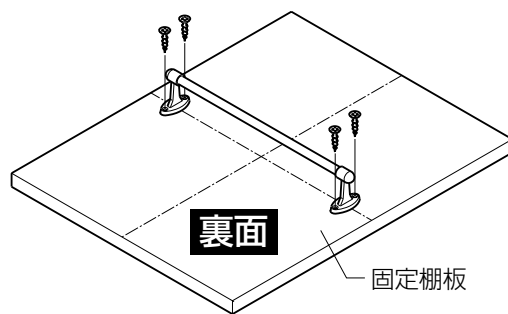
#### 【スライドコートハンガー】

- 固定棚板の裏面中央に、付属のねじで取付けます。



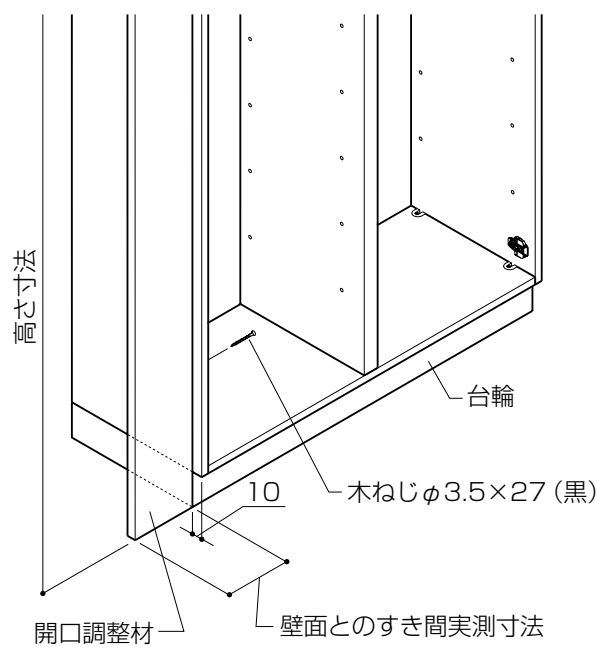
#### 【ブーツハンガー】

- 固定棚板の裏面中央に、付属のねじで取付けます。



### ■開口調整材

- ①実測寸法に基づいて化粧板を加工します。
- ②台輪と面一に合わせて取付けます。



### ■小物掛けフック

- ダボ穴へ、付属のねじ(ℓ=13.5mm)で取付けます。

